

ほうれんそう



《新・尼崎の本棚 138》

尼崎市立北図書館

尼崎市南武庫之荘3-21-21

TEL (06) 6438-7322

FAX (06) 6438-7344

<https://www.amagasaki-library.jp/>

発見された学童疎開の記録

「疎開」という言葉は第二次世界大戦末期、戦局の悪化により退去せざるを得なくなった時、軍事作戦上、「避難」「退避」を使わず意図的に言い替えたものです(※)。終戦記念日を迎える8月、尼崎から現・兵庫県丹波市市島町へ疎開した人たちの記録を紐解くことで、戦争と平和について考えてみませんか。

甲南大学人間科学研究所が、阪神間を対象としたプロジェクト「子ども時代の戦争体験」を実施し、調査結果をまとめています。調査には尼崎市立地域研究史料館も協力しました。プロジェクトと並行して、第二次世界大戦を経験した子どもたちの学童疎開に関連する調査も行われました。当時は兵庫県の学童疎開に関する具体的な史料になかなかとりつけなかったと、刊行の記に著者・人見佐知子氏は述べています。

調査が進む中で、阪神・淡路大震災で被災した個人宅で保管されていた史料が、尼崎市立地域研究史料館に寄贈されました。学童疎開に関する史料は、これらに含まれており、その内容が全国的にめずらしいものだということがわかりました。疎開経営の実際は、これまでその多くが体験者の日記や手記という形で出版されてきました。史料の「物品購入簿」「領収書綴」などからは、寮で暮らす人たちの様子を具体的に思い描くことができます。これらの史料により、今までとはまた違った角度から疎開の様子を明らかにできることがわかったのです。下記の刊行物は、すべて北図書館・参考室で閲覧できます。

(※「地域史研究 第112号」尼崎市立地域研究史料館／編集・出版
「兵庫県学童疎開関係史料集成」第二輯 尼崎市浜国民学校 石像寺寮篇
「兵庫県学童疎開関係史料集成」第三輯 尼崎市浜国民学校 宗福寺寮篇
人見佐知子／著 甲南大学人間科学研究所／出版)

●学童疎開に関する本●

『学童疎開の記録』	水谷 洋／著	中日新聞本社	210452628
『字のないはがき』	向田 邦子／原作、角田 光代／文、西 加奈子／絵	小学館	221889000
『がっこうかっぱの生まれた日』	山本 悦子／作 市居 みか／絵	童心社	222000932

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	15	16
⑰	18	19	20	21	22	23
⑳	25	26	27	28	29	30
㉑						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑦	8	9	10	11	12	13
⑭	⑮	16	17	18	19	20
⑳	22	㉓	24	25	26	27
㉘	29	30				

八月・葉月

旧暦八月は、もう秋本番。木々が色づき落ち葉舞うところから。

季語：炎昼、星月夜、地藏盆、解夏
歳時記：八朔、食品衛生月間、終戦記念日、五山の送り火、地藏盆

出典：「歳時記のある暮らし」坂東眞理子／監修 JTBパブリッシング

印の日はお休みです

<図書館の休館日> 開館時間 午前9時～午後8時(日曜・祝日は、午後5時15分まで)

8月は最終木曜日も開館します



こわいはなし大会



【日 時】8月2日(土) 午後2時～3時
【場 所】3階集会室
【対 象】どなたでも
【定 員】先着70人
【申 込】不要

部屋を暗くし、ろうそくの灯りだけで百物語のように、こわいはなしの語りきかせ(ストーリーテリング)をします。

話し手は、ボランティアグループ ひまわりの会さんです。

※大人の方のみでもご参加いただけます。

絵本の世界にまよいこもう！ 巨大めいろ 2025～夏～



【日 時】8月22日(金)～24日(日) 午後1時～3時(入場は2時45分まで)
【場 所】3階集会室
【対 象】子どもとその保護者
【申 込】不要

図書館の中に大きな迷路が出現！おはなしクイズをとりてゴールを目指そう！

※文字が読めないお子さんは、できるだけ保護者同伴でご参加ください。

※会場の混雑時には入場制限をかける場合があります。

ボードゲついでに図書館ツアー



【日 時】9月15日(月・祝) 午後2時～3時30分
【場 所】3階集会室
【対 象】中学生～20歳
【定 員】10人
【申 込】9月5日(金)より1階カウンター、または電話にてお申し込みください

ボードゲームを通して同世代と交流しよう！

初めての方でもわかりやすいゲームをご用意しています。

図書館の使い方や、本の効率的な調べ方をご紹介します！



＜8月展示のご案内＞

1階 一般大展示 「メディアとコミュニケーション」
2階 参考展示 「いわさきちひろ」
アオハル 「ボードゲついでに図書館ツアー」



大人のための朗読会

8月の朗読会はお休みです。

次回は、9月17日(水)の予定です。

詳細は、来月号をお楽しみに！

人を読む 松浦弥太郎

〔まつうらやたろう〕1965年～東京都生まれ。エッセイスト。著書に『最低で最高の本屋』『今日もていねいに。』『ひとりであることみんなとすること』『今日もごきげんよう』など多数。

『ご機嫌な習慣』

松浦 弥太郎[著]／中央公論新社

文章を書く仕事をはじめて二十年が経つ著者が、50代になって考えること、生活のなかで見聞きした、健康・仕事・暮らしにまつわる、幸せに生きるためのちょっとした知恵や気づきについて綴った一冊。『読売新聞』連載ほかを再編集・加筆修正。

『くらしのきほん100の実践』

松浦 弥太郎[著]／マガジンハウス

手紙の書き方、風呂敷の包み方、日々の家事、料理の知恵やコツ、我が家の定番など、文章と写真で紹介する。巻末に「あなたのきほん100」の書き込み欄あり。ウェブメディア『くらしのきほん』から100のコンテンツを選び、ハンドブックとして書籍化。

『ベリーベリーグッド』

松浦 弥太郎[著]／小学館

“手紙の目的とは、相手に喜んでもらうこと”。文章を書く時は、「大切な人思い浮かべて手紙を書くように」を心掛けている松浦弥太郎。友達からの手紙のような、読むと元気をもらえるレターエッセイ集。『Oggi』の連載「ブロッコリーは好きですか？」の記事を加筆。

『ぼくのおじいちゃん』

カタリーナ・ソブラル[さく]・
松浦 弥太郎[やく]／KTC中央出版

おじいちゃんとお隣りのライトさんは、毎朝同じ時間にあいさつする。ピラティスとドイツ語を習い、楽しいランチに出かけていくおじいちゃんの充実した毎日を描く。赤・緑・黄色を使ったカラフルなイラストも楽しい、ポルトガルで生まれた絵本。【0～5歳】

2002年にセレクトブック書店の先駆けとなる「COW BOOKS」を中目黒にオープン。2006年から9年間『暮らしの手帖』編集長を務めた後、ウェブメディア『くらしのきほん』を立ち上げる。株式会社おいしい健康取締役。様々なメディアで執筆活動続けるほか、クリエイティブディレクターとしても活躍する。

児童室

おはなし会



第1・第2・第3 土曜日 場所:3階集会室

おひざ (0～2歳くらい) 午後2:00～
 小さい人 (3～5歳くらい) 午後2:15～
 大きい人 (小学校低学年) 午後2:40～

8/2(土)

こわいはなし大会

午後2:00～3:00

先着70名



8/9(土)

●おひざのうえ

「たべたいな」
 「ちゃぶちゃぶがーん」

○小さい人

「よるのようちえん」
 「ちいちゃい、ちいちゃい」

◎大きい人

「あな」
 「まゆとおに」

8/16(土)

●おひざのうえ

「らっこちゃん」
 「へんなおばけ」

○小さい人

「ペンぎんのたまごにいちゃん」
 「二ひきのよくばり子グマ」

◎大きい人

「山んばあさんとむじな」
 「ふるやのもり」



第1・第3 水曜日
 あかちゃんひろば

場所: 1階絵本コーナー

8/6(水)、8/20(水)

午前11:00～11:20

0歳～2歳くらいのお子さんと保護者向け
 赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



第2・第4 日曜日

場所: 1階ロビー 2歳くらいから

8/10(日)、8/24(日)

午前11:00～11:20

季節の絵本や紙芝居など

8月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 	4	5	6 	7	8	9
10 	11 	12 	13	14	15	16
17 	18	19	20 	21	22	23
24 	25	26	27	28	29	30
31 						

日・祝日は午後5時15分まで